

導入マニュアル

LineTouchAlert

目次

- 導入編

- LineTouchAlert.ex4 をMT4へ保存方法

- Windows OSの場合
 - MAC OSの場合


- LineTouchAlert.ex4 稼働方法

- LineTouchAlert.ex4 について

- パラメータ設定

- ライントッチ

- メール設定



導入編

MT4へ保存方法 手順1

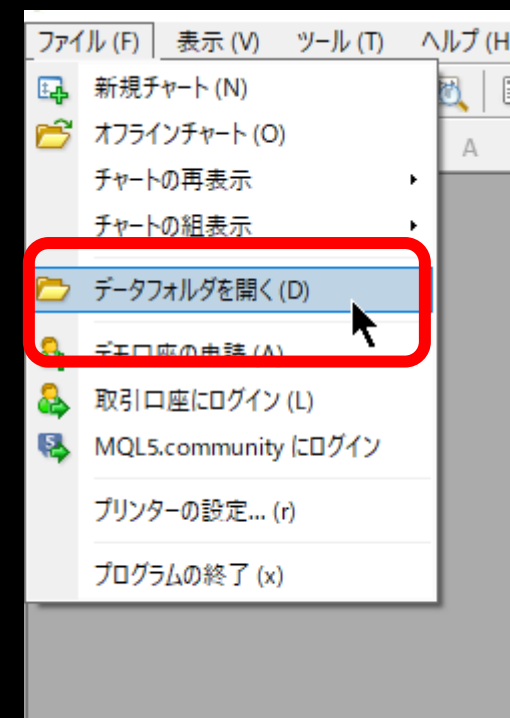
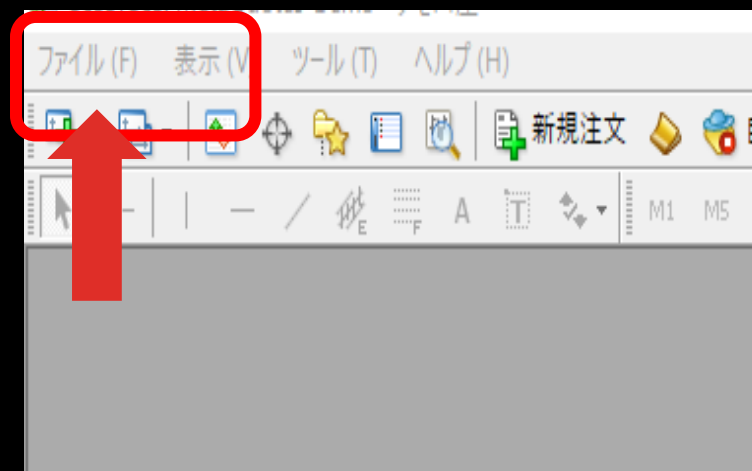
※こちらはMT4を起動して、デモ口座または本口座にログインができている状態が前提です。



MT4へ保存方法 手順2

1、MT4の左上の「ファイル」をクリックします。

2、「データフォルダを開く」をクリックします。



MT4へ保存方法 手順3

1、「MQL4」フォルダを開きます。

2、「Indicators」フォルダを開きます。

3、「LineTouchAlert.ex4」をここに保存します。

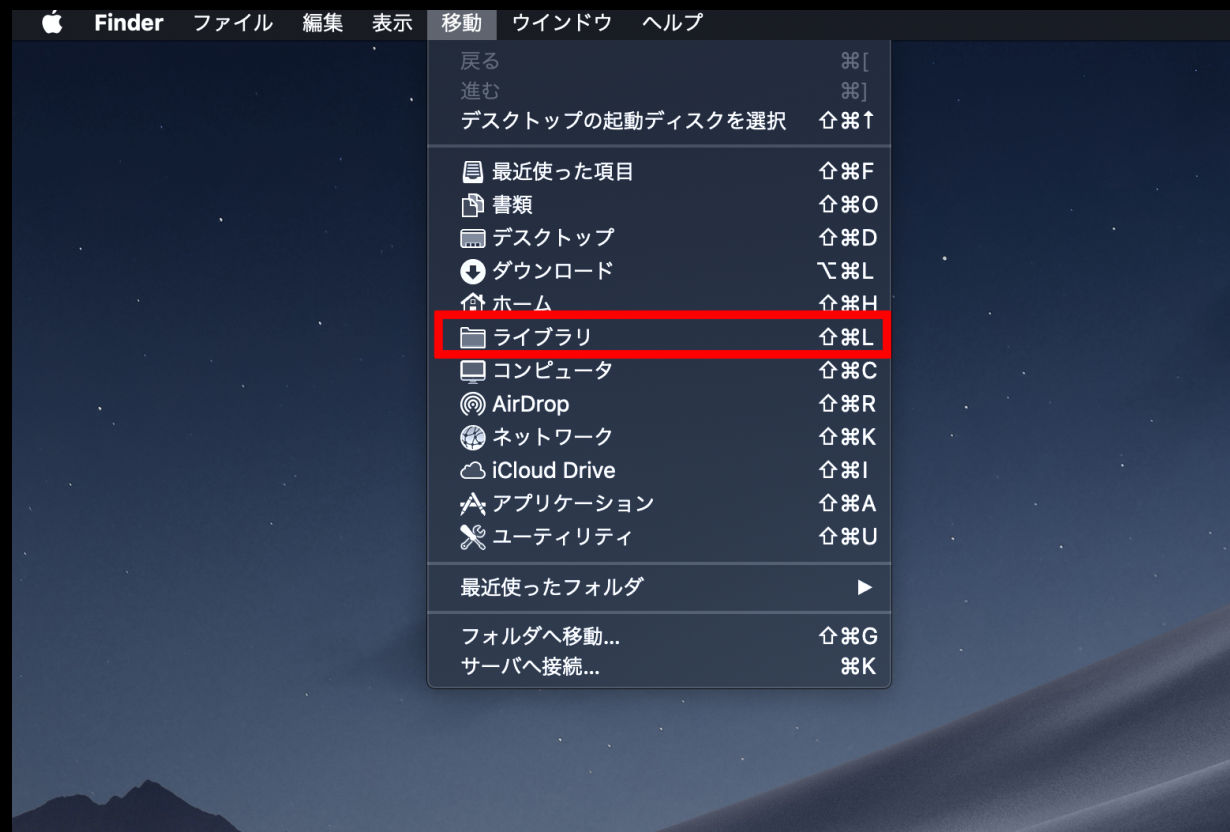
4、保存ができましたら、閉じてMT4を再起動させます。

名前	更新日時	種類	サイズ
config	2018/09/09 22:56	ファイル フォルダ	
history	2018/09/05 0:45	ファイル フォルダ	
logs	2018/09/09 21:17	ファイル フォルダ	
MQL4	2018/09/10 1:29	ファイル フォルダ	
profiles	2018/09/09 22:56	ファイル フォルダ	
templates	2018/09/04 23:41	ファイル フォルダ	
tester	2018/09/06 12:28	ファイル フォルダ	
origin.txt	2018/09/04 23:41	テキスト ドキュメント	1 KB

名前	更新日時	種類
experts	2018/12/19 13:21	ファイル フォルダ
Files	2018/12/21 16:19	ファイル フォルダ
Images	2018/10/06 21:57	ファイル フォルダ
indicators	2018/12/24 16:56	ファイル フォルダ
libraries	2018/12/19 13:21	ファイル フォルダ
logs	2018/12/24 5:43	ファイル フォルダ
Presets	2018/10/06 22:03	ファイル フォルダ
Projects	2018/09/04 9:59	ファイル フォルダ
Scripts	2018/12/19 13:21	ファイル フォルダ
Shared Projects	2018/09/05 0:47	ファイル フォルダ

MT4へ保存方法 手順1

- Finderを開く
- Optionキーを押しながら、画面上部のメニューにある「移動」をクリック
- （まだOptionキー押したまま）「ライブラリ」をクリック



MT4へ保存方法 手順2

- Application support
- com.XM.MACMT4～（以下略） ←フォルダ名が長い。

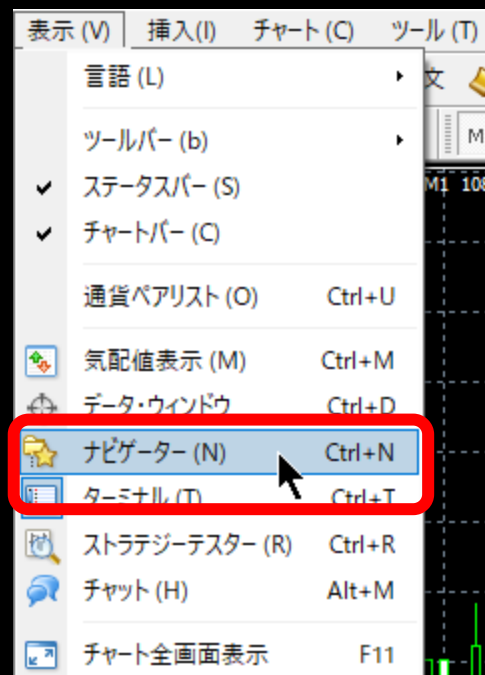
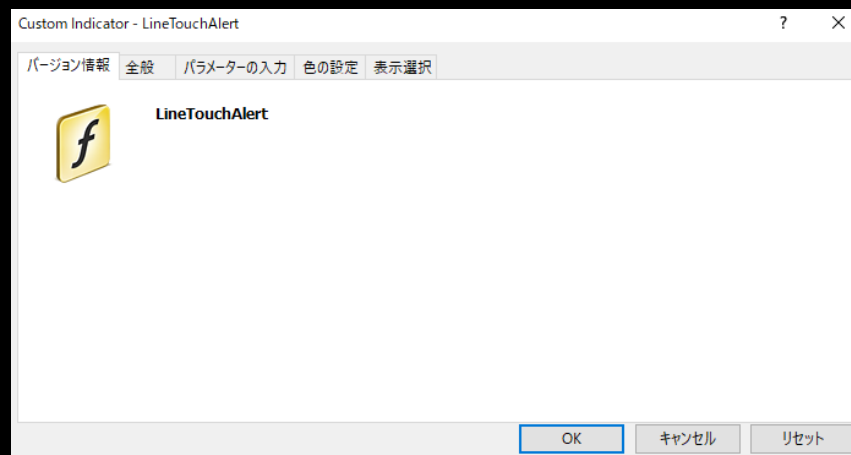
例 「com.XMTrading.MACMT4～」

- drive_C
- Program files
- XMTrading MT4
- MQL4
- Indicators

Indicatorsフォルダを開いてLineTouchAlert.ex4をマウスでドラッグ・アンド・ドロップすれば完了です。

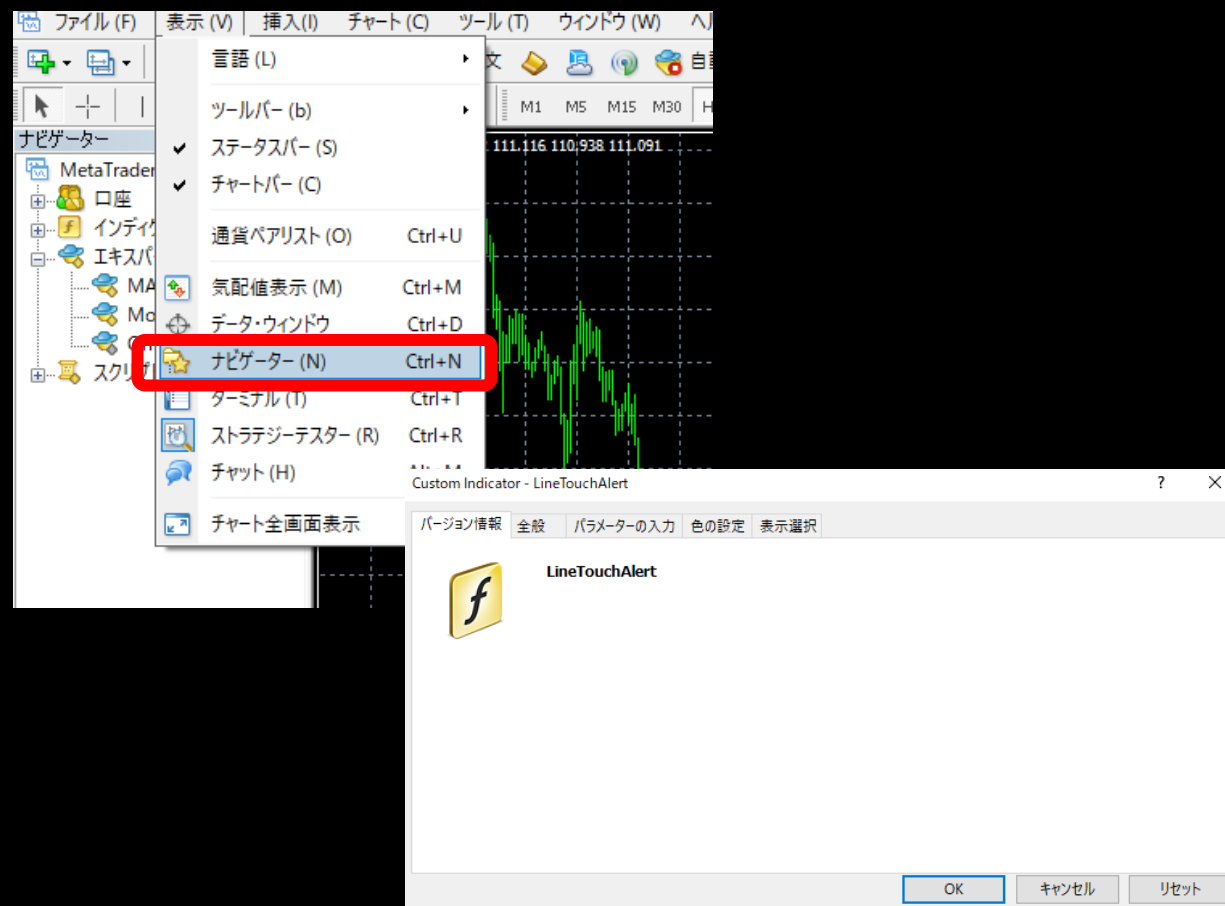
稼働方法

- MT4上部の「表示」→「インディケーター」をクリックします。
- 表示されたナビゲーターから「インディケーター」にある「LineTouchAlert.ex4」を選択してコピー＆ドラッグしてチャートに適用します。



稼働方法

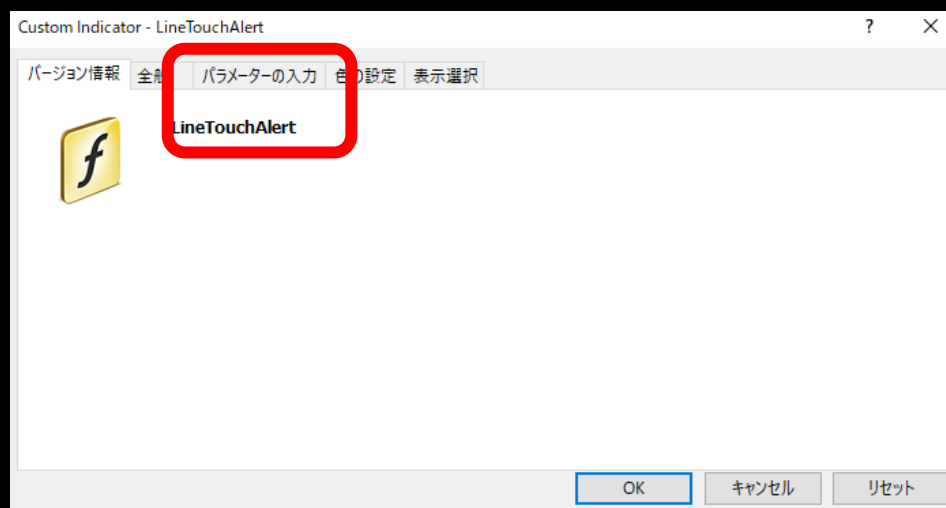
- 続いて、稼働したい通貨ペアのチャートを選択してチャート上部の「表示」→「ナビゲーター」をクリックします。
- 表示されたナビゲーターから「エキスパート」にある「Orli_ISL v3」を選択して、クリックしながらチャートへマウスを動かして（コピー&ドラッグ）チャートに適用します。



稼働編

導入画面

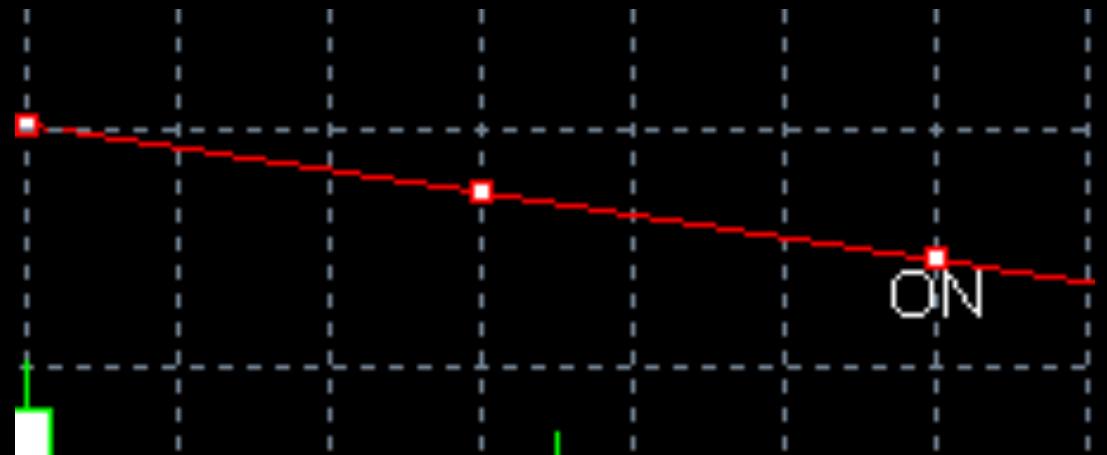
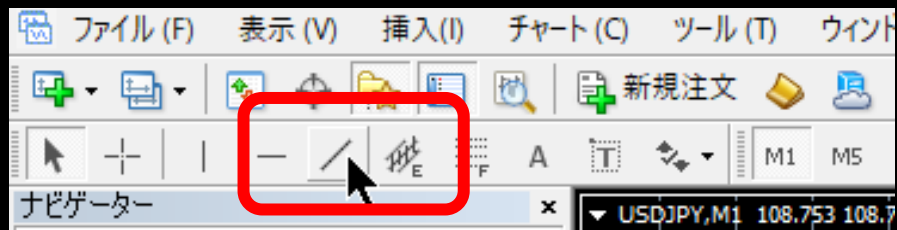
- チャートへ導入が成功すると以下の画面が表示されます。
- 「OK」をクリックします。



導入画面 正常な場合

- チャートへ適用が成功するトレンドラインを作成するとタッチアラート対象のラインになります。

トレンドライン作成



パラメータ設定の説明

LineTouchAlertでは4つの設定項目があります。

① アラート機能

タッチ時のアラートのON/OFFの設定します。

② サウンド機能

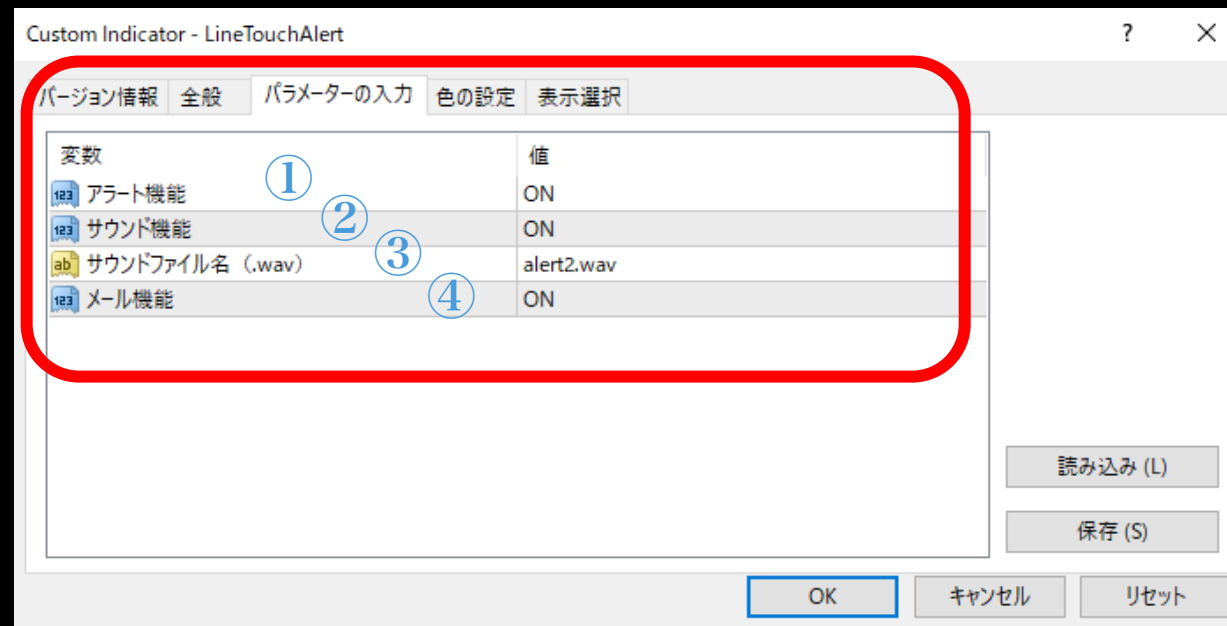
タッチ時のサウンドのON/OFFの設定します。

③ サウンドファイル名

サウンドファイルを設定します。

④ メール機能

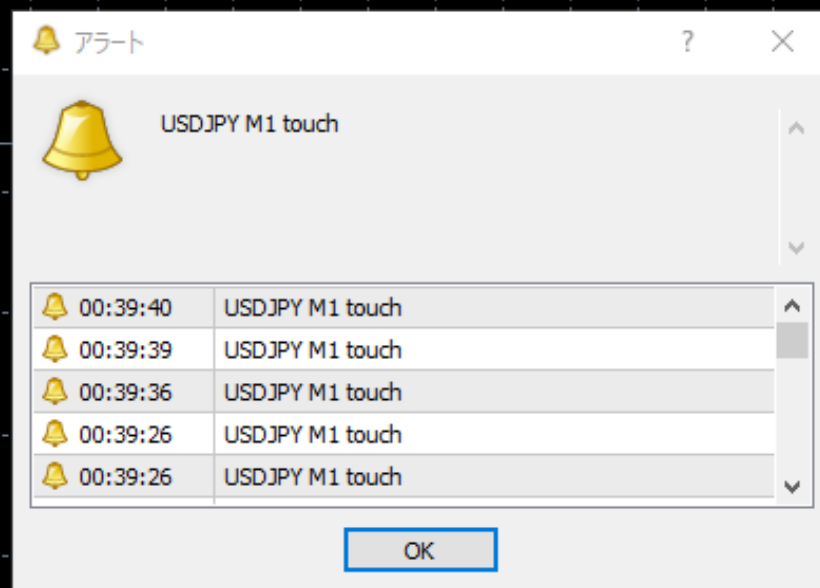
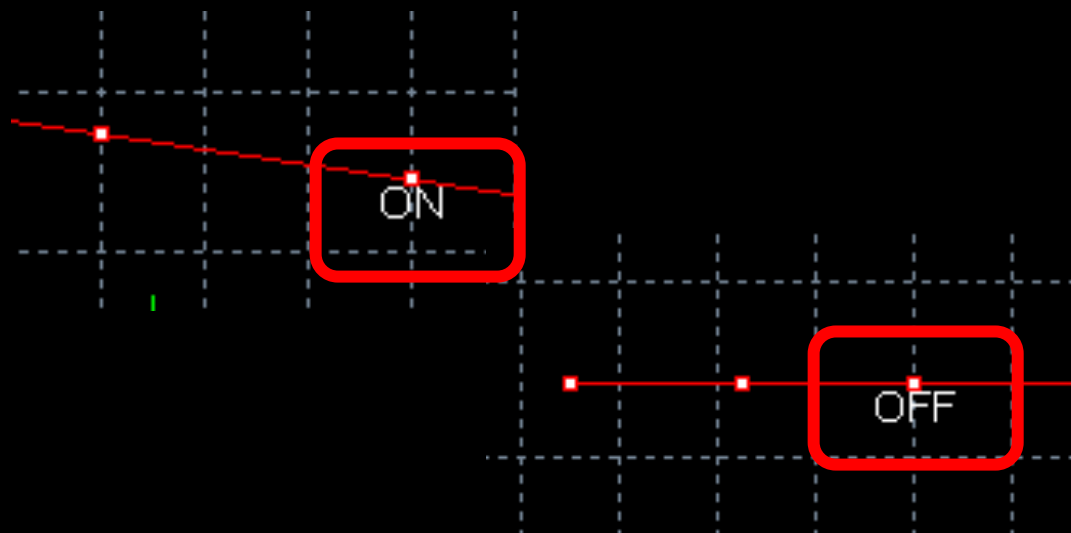
ONにするとタッチ時にメール送信します。



ラインタッチの使い方

ラインタッチ

- ・画像のようにロウソク足がラインを超えているときにアラートが表示します。
- ・ラインの「ON」をクリックすると「OFF」になり、タッチアラート機能対象外になります。



メール設定

メール送信設定 安全性の低いアプリの許可の設定方法

- 「安全性の低いアプリの許可」が無効になっているとMT4でメールを送ることが出来ません。
- 「安全性の低いアプリの許可」を有効にするとMT4でメールを送ることが出来るようになります。

安全性の低いアプリの許可 **有効**



一部のアプリや端末では安全性の低いログイン技術が使用されており、アカウントの脆弱性が高まる可能性があります。こうしたアプリについてはアクセスを無効にすることをおすすめします。有効にする場合は、そのようなリスクをご理解の上でお使いください。

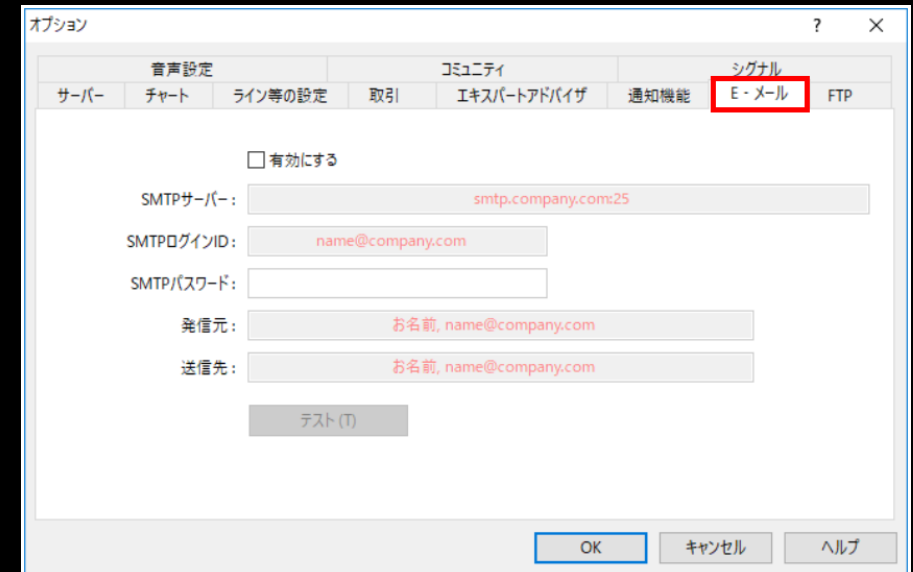
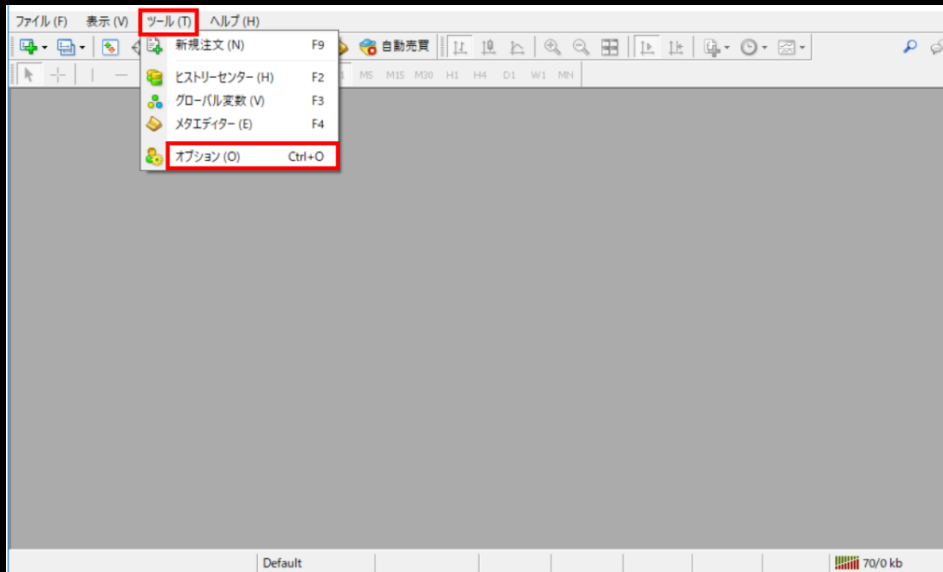
メール送信設定 手順 1

- まず受信したいGmailアカウントを用意します。
- 以下のアドレスを開きます。
<https://www.google.com/settings/u/2/security/lesssecureapps>
- テストメールが届いたら設定完了です。
- 「オンにする」にチェックを入れてください。（設定が反映されるまで若干のタイムラグがあるようです）



メール送信設定 手順2

- MT4上部の「ツール」→「オプション」
→「E-メール」タブを選択します。
- 「有効にする」にチェックします。



メール送信設定 手順3

- ・ SMTPサーバー ⇒ smtp.gmail.com:465
- ・ SMTPログインID ⇒ Gmailのメールアドレス
- ・ SMTPパスワード ⇒ Gmailのパスワード
- ・ 発信元 ⇒ 送信メールアドレス (Gmailアドレス)
- ・ 送信先 ⇒ 送信先のメールアドレス (Gmailでなくてもよい)

を設定して下さい。テストボタンをクリックしてテストメールの送信が成功すれば設定はOKです。

※「安全性の低いアプリの許可」が無効になっている場合は、
「Mail: login to smtp.gmail.com:465 failed」このようなエラー（ログイン失敗）が出てメールが送れないようです。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled 'オプション' (Options). It has a tabbed interface with the following tabs: 'サーバー' (Server), 'チャート' (Chart), 'ライン等の設定' (Line settings), '取引' (Transaction), 'コミュニティ' (Community), 'エキスパートアドバイザー' (Expert Advisor), '通知機能' (Notification), 'シグナル' (Signal), 'E-メール' (E-mail), and 'FTP'. The 'E-メール' tab is selected. Inside the tab, there is a checkbox labeled '有効にする' (Enable) which is checked. Below it are several text input fields: 'SMTPサーバー' (smtp.gmail.com:465), 'SMTPログインID' (a masked email address), 'SMTPパスワード' (a masked password), '発信元' (a masked email address), and '送信先' (a masked email address). At the bottom of the tab is a 'テスト(T)' button. At the bottom of the dialog box are three buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help).